

# 金融と経済を考える 高校生小論文コンクール



金融広報中央委員会は全国の高校生・  
高等専門学校生・高等専修学校生等を対象に  
「金融と経済を考える」小論文を募集しています。  
みなさんがふだん考えていること、  
調べたことなどをまとめてご応募ください。

## 特選5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

## 秀作5編(賞状と奨学金2万円)

■佳作50編(賞状と図書カード5千円分)

■学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)



# テーマ 自由

テーマは、金融や経済に関することであれば、どのようなものでも構いません。テーマを考える際の参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

## ◆テーマの例

### 1. あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職を付ける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

### 2. 日本のこれからを考える

現在の日本経済には、少子高齢化の進展、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

### 3. 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や、環境に優しいエコ商品、ユニバーサルデザイン、あるいはゲームやアニメなどのコンテンツ産業等、新たな経済活動が活発になってきています。“ゆるキャラ”を伴う地域おこしなど、地方を活性化させようとする動きも全国各地で見られます。あなたが注目する産業について、その特徴をまとめ、将来有望であるとする理由を述べてみましょう。

### 4. 消費者としてのルール

ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルに巻き込まれないためにどうすればよいと思いますか。なるべく具体的に、ルールを紹介したり、あなたの考えをまとめてみてください。

## 第16回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

[賞] ●特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と奨学金2万円)

●佳作 50編(賞状と図書カード5千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2018年9月20日(木)※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って

応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2018.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2018.jp/>



## 小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

# 自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から2,908点の作品が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



## 第15回 受賞作品の紹介

第15回  
(2017)



過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

[https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours\\_ronbun/](https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/)

### 金融担当大臣賞

曾祖父の筆入れ  
新潟県 新潟県立新潟高等学校 1年  
高橋 まりあさん

**作品の内容** 筆者が生まれる前に亡くなった曾祖父は、曾祖父の母が着物の切れ端で作った筆入れを、90歳で亡くなるまで職人に修理してもらいながら大切に使い続けたそうです。そのエピソードから「ものを大切に作る心」を感じた筆者は、大量生産・消費の現代において、今一度立ち止まって、ものの価値観を見直すことも大切だと述べます。「ものを大事にすることが経済成長につながる、という広い視点で書かれている」との評価を受けました。

**受賞者の声** 曾祖父が教えてくれた「ものを大切に作る心」は、現代のものが溢れる社会を見つめ直し、新たな可能性を見出すきっかけを与えてくれました。過去からの学びを、形を変えて未来へ生かすことが大切だと思います。

### 文部科学大臣賞

貧富の差が生む教育格差  
兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年  
志藤 風花さん

**作品の内容** 母子家庭に育った筆者は、高校入学後に初めて塾に通う必要性を感じたことをきっかけに、経済的な理由で受けられる教育に限界がある日本の教育制度に疑問を抱きます。すべての子どもが家庭環境に関係なく公平な教育を受けられる制度として、高校の義務教育化や大学無償化などを提案します。審査員からは、「自分の体験だけでなく資料等を整理した上で『これからの学び』を提言している」ことが授賞理由として挙げられました。

**受賞者の声** 受賞が嬉しくて、仕事から帰った母を玄関で待ち構えて報告しました。「得た知識は誰かの役に立って初めて意味を成す」。学ぶことを支えてくれる母への恩返しに留まらず、他人に恩送りできるような人生を歩めるよう、学ぶことに貪欲でありたいと思います。

### 日本銀行総裁賞

人はなぜ「働く」のか  
兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年  
本田 喜美華さん

**作品の内容** 筆者は、担任の先生の言葉をきっかけに「働く意味」と向き合い始めます。旅行で訪れたテーマパークで働く人の笑顔に答へのヒントを見つけ、「一生懸命働くことで、誰かの役に立ち、自分が必要とされている」ことに気付くのだと考えます。中学の時の職業体験を踏まえ、最後に「働くことで誰かを笑顔にし、いつか親に恩返しをしたい」と述べています。「自分の過去の体験も踏まえ、深く良く考えられている」と評価されました。

**受賞者の声** 今まで私は、仕事=お金というイメージがありました。しかしそれでは人はお金に縛られて生活していることになる、それはおかしいと思い、人が働く本当の理由を考え直しました。人を幸せにするのは決して簡単なことではありませんが、必ず実行しようと思います。

### 全国公民科・社会科教育研究会会長賞

もやし18円  
兵庫県 雲雀丘学園高等学校 2年  
武田 薫水さん

**作品の内容** もやしがスーパーマーケットの安売りの目玉商品として扱われる背景を調べていくと、価格競争により本来の価値より低い価格で販売され、生産者が逼迫している現状が分かります。そのことに筆者は疑問を抱き、「当然だと思っている身近なことが、本当に適正に成り立っているかを多面的に考えて生活していきたい」と述べます。審査員は、「具体的なデータを挙げ、価格の在り方について経済学的に踏み込んで考察している」と評価しました。

**受賞者の声** 買物をするとき、つい安さばかりに目が向いてしましますがその価格の裏に隠れているのは暮らしを営む人間です。経済の中で生きる上で消費者として取るべき姿勢や行動について考える良いきっかけになりました。今後も経済や金融を学び、生活に生かしたいです。

### 金融広報中央委員会会長賞

希望への道  
福島県 福島県立視覚支援学校高等部 2年  
遠藤 未来さん

**作品の内容** 筆者は視覚と右足に障がいがあります。悩んだ末に将来は理学療法士を目指すことに決め、高校、大学、理学療法士の資格取得後にやりたいことについて、明確なライフプランを描いています。「正直でいること」「笑顔でいること」の2つを守りつつ、「未来に向かって、一歩ずつ確実に希望への道に足跡をつけていきます!」と宣言します。審査員は、「自分の体験をもとに、ライフプランをしっかり立てている」と評価しました。

**受賞者の声** 私は今までの経験と、これからの希望や、なりたい職業、モットーなどについて書かせていただきました。素直に想いを文章にしたことで、このような賞をいただけることをとても嬉しく思い、自信を持つことができました。

### 秀作

農業の背骨 米づくり  
岩手県 岩手県立一関第一高等学校 1年  
眞尾 夏海さん

多様性と平等の中での経済の役割  
愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校 4年  
宇都宮 快斗さん

「もたろう」から考える日本経済  
大分県 大分県立大分舞鶴高等学校 2年  
中馬 きららさん

人工知能が経済にもたらす影響  
大分県 大分県立東明高等学校 2年  
藤並 蒼史さん

空き寺問題について  
東京都 中央大学高等学校 3年  
難波江 春風さん

### 学校賞

福島県 福島県立視覚支援学校高等部  
新潟県 新潟県立新潟高等学校  
兵庫県 西宮市立西宮高等学校  
兵庫県 雲雀丘学園高等学校

第15回  
審査員  
(敬称略)

天野 晴子(日本女子大学教授) 松島 斉(東京大学大学院教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士) 八幡 道典(金融庁総務企画局政策課政策監理官)  
矢幅 清司(文部科学省初等中等教育局視学官) 上村 肇(全国公民科・社会科教育研究会会長) 鶴海 誠一(日本銀行情報サービス局長)  
吉國 眞一(金融広報中央委員会会長)



